

ひと声かけて支え合う 災害時連携 NPO 等ネットワーク  
—災害 NPO ネット—

平成 28 年度 事業報告書

(平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

# 災害 NPO ネット

事務局(京都府 府民生活部 府民力推進課)

〒602-8570

京都市上京区下立売通新町西入藪ノ内町

TEL:075-414-4452 FAX:075-414-4230

MAIL:fuminryoku@pref.kyoto.lg.jp

URL: <http://hitokoe-npo.jp/>



# 目次

## ①災害 NPO ネットとは？

## ②平成 28 年度の主な成果

- ・災害 NPO ネット設立
- ・加盟登録団体実績
- ・設立時実行委員会の実施

## ③会計

## ④受賞・記事掲載

## ⑤連携機関

## ⑥事業報告

- ・設立大会
- ・地域コーディネーター・本部オペレーター研修案作成
- ・資源マッチング HP 制作
- ・加盟登録へ向けた説明会の実施

## ①災害 NPO ネットとは？

### ■設立の経緯

平成 26 年の福知山市水害を受けて、「NPO が被災した場合の受け皿が必要ではないか。」と、地元 NPO からの提案があり、NPO、有識者、企業、事務局である京都府を含む 8 団体で、27 年度に有識者を中心とした検討委員会を設立。28 年度に「災害時連携 NPO 等ネットワーク(以下 災害 NPO ネット)」として発足しました。

### ■団体の目的(規約より)

災害NPOネットは、京都府内のNPO等の平常時からの連携により、自然災害等による被災者への支援、及び災害NPOネットに加盟登録した団体(以下「加盟登録団体」という。)の相互支援の推進を目的とする。

### ■概要

自然災害による被害が京都府内で発生した場合、府内で社会課題の解決や公益性を担って活躍している NPO(NPO 法人、自治組織、経済団体等)が有する専門性や豊富な経験を活かし、①スペシャルニーズ(※1)をもった被災者への支援②NPO 同士の相互支援の 2 つの柱(※図 2)で、主に復興時期に必要とされる、生活再建のための息の長い支援を中心に、活動を行います。

災害時に、迅速かつ適切な支援機能が発揮できるよう、平時からの地域との関係構築を大切にしており、人材の育成や、顔の見える関係づくりのための研修等を開催します。各地域でのネットワーク構築と共に、地域を越えた広域的なネットワークの創出を目指します。(※図 1)

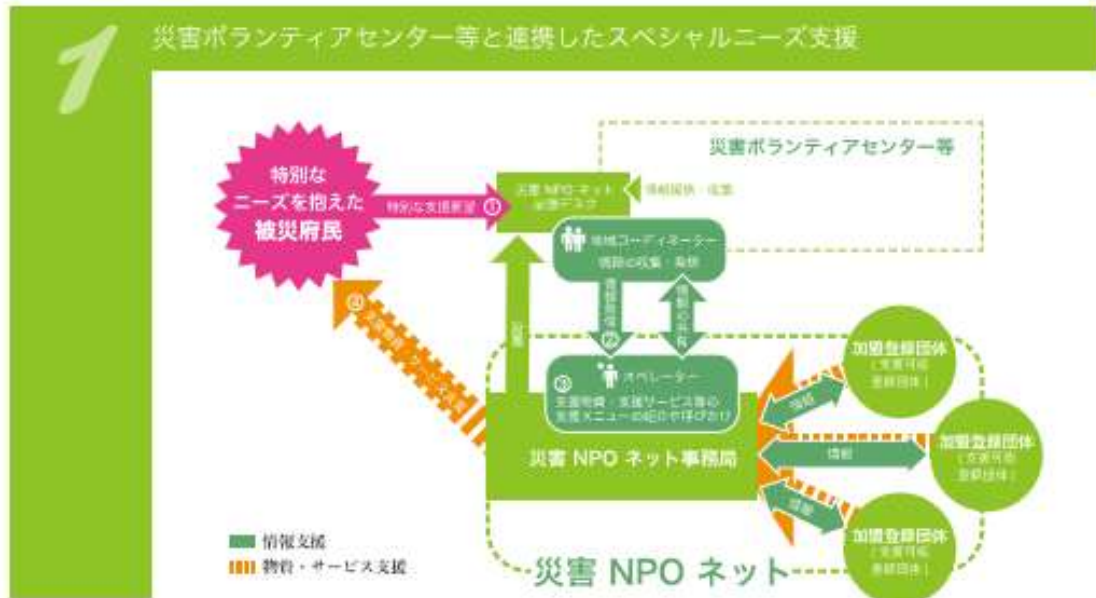
※注1 スペシャルニーズとは…

傾聴や、食物アレルギーを持つ子どもへの対応等、特別な支援を必要とすること。



(図1)

# 災害時連携 NPO 等ネットワークの 2 つの活動の柱



(図2)

## ■役員体制

- 会 長 牧紀男(京都大学防災研究所 教授)
- 副会長 荻原靖(京都中小企業家同友会 専務理事)  
平尾剛之(NPO 法人きょうと NPO センター 常務理事)
- 理 事 赤澤清孝(大谷大学 准教授)、武田知記(京都府社会福祉協議会 事務局長)、今瀬政司(NPO 法人市民活動情報センター 代表理事/京都経済短期大学 准教授)
- 会 計 神田浩之(京都府府民力推進課 課長)
- 監 事 森田洋行(NPO 法人京都丹波・丹後ネットワーク 副理事長)

## ②平成 28 年度の主な成果

10月29日(土)京都大学防災研究所において13時から設立総会を開催し、設立の目的・規約等の接見を行い「災害 NPO ネット」が正式に発足しました。設立総会に引き続いて講演会を開催し、福知山水害の経験、災害時の NPO の役割、災害ボランティアセンター、中小企業家同友会の災害時の活動といった内容についての報告を元に「災害 NPO ネット」の活動のあり方についてのパネルディスカッション、さらにはグループに分かれての議論を行いました。

「災害 NPO ネット」の設立、さらに「災害 NPO ネット」の活動について議論するために「設立時実行委員会」を9回実施しました。

加盟登録団体数は46団体(平成29年3月31日現在)の、加盟登録団体のうち実行委員会に参加している団体が14団体、役員8名となっています。



実行委員会の様子

## ③会計 (別途会計資料参照)

■収入 1,126,504 円

○助成

- ・「2016 年度近畿ろうきんNPOパートナーシップ制度」助成
- ・「平成 28 年度京都府地域力再生プロジェクト支援事業交付金」助成

○京都地域創造基金 HP にて寄付募集の呼びかけ

■支出 1,013,570 円

■収支差額 112,934 円⇒29 年度事業に、大切に活用させていただきます。

## ④受賞・記事掲載

■受賞

- ・全国知事会主催「第9回先進政策創造会議」優秀政策 受賞

■記事掲載

- ・京都新聞 平成 28 年 10 月 28 日(金)朝刊
- ・中小企業家同友会全国協議会「中小企業家しんぶん 第 1372 号」
- ・京都府災害ボランティアセンター「災害にも強いまちづくり」 等掲載

## ⑤連携機関

■京都府災害ボランティアセンター

■京都銀行(協力機関)

■ヤフー株式会社(協力機関)

## ⑥事業報告

### ■設立大会

#### ひと声かけて支え合う「災害時連携NPO等ネットワーク」設立大会&加盟登録説明会

- ・日時：平成28年10月29日(土)13～17時
- ・場所：京都大学宇治キャンパス 防災研究所連携研究棟 大セミナー室
- ・人数：41名（うちスタッフ15名）
- ・事業費：5,448円（参加費無料）

当ネットワークの加盟登録団体の他、災害支援に興味のある府民の皆さんを対象に、設立大会を開催し、当ネットワークの制度概要説明を行いました。

実行委員によるパネルディスカッションの他、意見交換ワークショップを行いました。ワークショップでは、少人数のグループにわかれ、「災害時、自分たちに何ができる?」、「災害NPOネットをどうやって運営していく?」をテーマに話し合いました。



### ■地域コーディネーター・本部オペレーター研修案作成

- ・日時：平成28年11月～平成29年2月
- ・場所：きょうとNPOセンター、南丹市社会福祉協議会 他
- ・人数：延べ約30名
- ・事業費：180,000円

地域コーディネーターや本部オペレーターを養成する研修プログラムの作成に取り組みました。作成にあたり、地域コーディネーターの役割について協議するとともに、災害支援経験をもつ南丹市社会福祉協議会へのヒアリングを行いました。研修案は、①加盟登録団体とサポーターの相互理解を図ることを目的とした研修、②地域コーディネーターの養成を目的とした研修、③本部オペレーター向けの研修の3つに分けて作成。災害時にNPO同士が支え合うとともに、災害ボランティアセンター等と協力し専門性を活かした活動が行えるよう、日常的な交流と研修に今後取り組むこととしています。

## ■資源マッチングHP制作

- ・日時：作成 平成28年5月～平成29年3月
- ・事業費：903,286円

災害後の支援に役立つ支援物資マッチングポータルサイトを開設。設立大会でのグループワーク等、加盟登録団体を中心とした10回を超えるヒアリングの他、京都中小企業家同友会より資源マッチングの手法についてアドバイスを頂きながら作成しました。加盟登録団体の相互支援の関係作りに役立つ他、被災地外からの支援ネットワーク作りを目指します。



## ■加盟登録へ向けた説明会の実施

### ①加盟登録に向けた交流会（南丹）

- ・日時：平成28年8月31日（水）  
19時00分～20時30分
- ・場所：南丹市国際交流会館
- ・人数：21名
- ・主催：NPO法人テダス（実行委員会）



- ・内容：災害NPOネットの概要説明、グループワークでの意見交換・質疑応答を行いました。4マスシートを行い、活発な議論がなされました。

### ②「しえんのわ」の「わ」の「昼飲み会」

- ・日時：平成28年12月17日（土）13時～19時
- ・場所：Share Space FLAT+（舞鶴市）
- ・人数：約20名
- ・主催：しえんのわ（加盟登録団体）
- ・内容：舞鶴市の地域活動団体交流会にて、様々な企画の1つとして、災害NPOネットの概要説明を行いました。